## 248

## 誠実なりし者の墓にありて







なきがら:死者の肉体

主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、空中で主に会い、いつも主と共にいるであろう。 テサロニケ前書 4:16,17見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、人の目から涙を全くぬぐいとって下さる。 黙示 21:3,4

し 死にいたる日まで 誠を尽くしし $\rightarrow$   $^{x_{APK}}$  なが涙を主は またくぬぐいたもう。

6

いま やす え あがなわれし今 なれは安き得ぬ。 <sup>bh</sup> す 我らもときわの み住まいをめざさん。

7

主の死はわれらに いかなる恵みぞ! 我らをも死にぞ 勝たしめたまえや。